

2020年3月27日

東京大学教養学部新入生の皆様

教養学部前期課程・後期課程・大学院総合文化研究科の学生の皆様

大学院総合文化研究科・教養学部の教職員の皆様

本日より、新型コロナウイルス感染症に関する駒場のステージを「イエロー」から「オレンジ」に移行します。

ステージ・オレンジにおいては、原則として下記の措置を取ることになっています。

- 対面授業は避け、学生実習や体育実技などもオンライン授業とする。
- キャンパス内のサークル活動・課外活動は禁止する。ただし、やむを得ない理由でキャンパス内施設を利用する場合は事前に申請して許可を受けること。

ステージ・オレンジは、当面、今後3週間程度は継続する見込みです。ただし、都内の感染者数等の状況の変化によっては、それ以前に変更される可能性もあります。いずれにせよ、ステージの変更については、都内の感染者数等の状況を総合的に判断して決定し、迅速にお知らせいたします。

ステージ移行の理由は下記のとおりです。

昨日大学から公表のあったとおり、本学学生に新型コロナウイルス感染者が発生しました。なお、当該学生は駒場キャンパスへの立ち入りはありませんでした。しかしながら、昨日には東京都内の新型コロナウイルス新規感染者数が47名となり、日々加速度的に増大しています。小池都知事は、「感染爆発の重大局面」として、週末の外出自粛要請などを行っています。こうした状況を総合的に判断して、ステージをオレンジに移行することとしました。

以上に基づき、下記の具体的な対策を行います。[]内は対象となる方です。

- 1 [全ての学生と教員] 授業に関しては、当初2週間に予定されていた対面型授業をすべてとりやめ、オンライン移行のための準備期間、課題学習期間、あるいは休講とする。原則として、オンラインによる授業を第3週から開始する。
- 2 [前期課程新入生、後期課程進学生、大学院新入生・進学生] 明日以降に予定していたガイダンスを中止とする。ただし、学生証の配布は実施する。学生証配布のスケジュールは教養学部HPを確認すること。健康診断については駒場保健センターのHPを確認すること。
- 3 [全構成員] 入構規制(正門への入構集約、サーモグラフィーによる検温実施、外部者の構内立ち入り禁止の厳格化など)を行う。
- 4 [全構成員] 構内(とくに室内)におけるマスク着用、室内の換気や消毒の励行、距離を置いた人との接触、宴会・花見などの禁止を強く要請する。(発症者が出た場合、濃厚接触者の数を減らすために必要な措置です。)
- 5 [全構成員] 発熱・咳などの症状が出た場合、速やかに教養学部もしくは総合文化研究科の担

当部署へ報告し、自宅待機を行う。報告先は下記のとおり。

○前期課程学生、後期課程学生、大学院学生

後日教養学部ホームページに掲載予定の専用フォームを使用すること。

○教職員

総務チームにメールで連絡すること。

- 6 [教職員] できる範囲において自宅等でのテレワークを推奨する。できる限り対面会議を中止し、遠隔会議を導入する。

以上です。ご協力と体調管理のほど、よろしくお願いいたします。

総合文化研究科長・教養学部長 太田 邦史